

## 「いらっしゃいませ！」未来を照らす子どもの笑顔

### 富山県

#### 中小企業診断士／二瓶哲

明日の地域を担うのは誰か。可能性をいっぱいに秘めた子供達である。昨今、子供に対する起業家教育が注目されつつある。富山県商工会連合会では、小学生に対する起業家教育事業「ベンチャー・キッズ・チャレンジ」を平成12年度より県内各地で行っている。

子供達は5～6名でチームを組む。まず事業計画を作成し V-Kids 銀行（仮想の銀行である）からの融資を得る。これが結構厳しく、何回も書き直しさせられる。続いて製品づくりやポスターづくり、店構えのセッティングを行う。そしていよいよ営業開始である。

「いらっしゃいませ！」と元気のいい声が響く。もちろん現金による売買がなされる。最後は決算である。収益のあがったチームでは、メンバーが皆、笑顔で喜ぶ。収益については、メンバーの給料をはじめ、指導の先生や社会福祉団体への寄付を自主的に決める。一方、赤字を出したチームでは、草むしりや清掃奉仕を行う。ベンチャー・キッズ・チャレンジでは、子供達の表情はとても生き生きとしている。

子供達の感想では、「商売というのは大変だけど楽しい」という内容が多く好評である。その一方で、「熱心に声をかけても客に無視された」と社会の冷たさを味わう面も見受けられる。特に注目すべきは、子供達の自主性、行動力、前向きに取り組む姿勢が学校教育とは違った角度で引き出されていることである。

これからは、地域特性を生かした新たな産業の創出が強く求められる。このためには、明日の地域を担う人材が、起業家精神を持つことに加え、自分達の住む地域についての誇

りを持たなければならない。地域に埋もれている資源（強み）を掘り起こし、地域オリジナルの商品・サービス開発に生かしていくことが、内発的な地域産業の発展へとつながっていく。子供達の限りない可能性に期待したい。